

特集 市長施政方針

弱い立場の人々や問題に直面して本当に困っている人たちの声にも、しっかりと耳を傾けて問題解決にあたる、そういう心の通うあたたかなまちづくりを、市政運営の基本におきたいと考えております。

住む人を大切にする

まちづくり

このたびの選挙で訴えて参りました「住む人を大切にするまちづくり」とは、子供たちが希望を持って育つまちであり、お年寄りが安心して暮らせるまちでもあり、さらには若者が活気を持って働けるまちでなければなりません。そのためには、議会をはじめ市民の皆様、さらには長門広域圏の中心都市として近隣3町のご意見も十分拝聴し、このまちに住んでよかったと実感が共有できるまちづくりのために、これから、全力を傾注して参りたいと存じます。

それでは、3つの基本政策に集約して、順次申し上げてみたいと存じます。

福祉・環境の

まちづくり

まず第1点は「福祉・環境のまちづくり」であります。

日本は今、世界でも例を見ない急速な超高齢化社会を迎えようとしております。

本市におきましても高齢化率は24・6%であり、4人に1人が65歳以上となっており、統計によれば75歳以上の高齢者のうち、35%の方が何らかの障害を持つと言われております。お年寄りや障害者の方が、住み慣れた家庭や地域で充実感に溢れ、誇りと生きがいを持って、安心して暮らせるまちづくりを進めるためにも、ノーマライゼーションとバリアフリーの視点に立った施策を進めて参りたいと考えております。

高齢・障害者在宅自立支援・社会参加プロジェクト

具体的には「高齢・障害者在宅自立支援・社会参加推進プロジェクト」として、その中心に住宅改良サービスの充実に力を入れたいと考えております。

子育て支援プロジェクト

次に、少子化対策として「子育て支援プロジェクト」を推進して参りたいと考えております。

現在の少子化が、深刻な高齢化社会を加速させ、国や地方の活力の衰退を招くことは必至の情勢であります。そこで少子化対策は極めて重要な施策になると考えているところであります。

乳幼児医療制度の期間延長、児童クラブの充実、保育園舎等の計画的な立て替え、チャイルドシートのレンタル制度導

入など、先の長門市女性問題対策委員会のご提言にお応えすべく、財源を勘案しつつ優先順位を明確にし、国県の協力も得ながら、実現のために努力して参りたいと考えております。

リサイクル・環境保護推進プロジェクト

次に「リサイクル・環境保護推進プロジェクト」であります。容器包装リサイクル法にもありますが、廃棄物をこれまでの単に「燃やして埋める」のではなく、リサイクル・分別収集を可能な限り推進する「循環型」社会への転換を目指さなければなりません。市民のご協力と参加をいただくとともに、近隣3町

